

## 6月8日(木)、参加者23名にて 定期研修会・交流勉強会が行われました。

第一部定期研修会では、雪谷税務署法人課税第一部門 板本上席に、「平成29年度税制改正」について講演していただきました。

今年度は、配偶者控除、配偶者特別控除の見直し、研究開発税制の見直し、中小企業の投資促進税制、酒税改革などが行われることが決定し、これにより40億円の増収を見込んでいるということでした。改正された制度の中には、既存の制度の税率の改正はもちろん、「酒蔵ツーリズム免税制度」という、外国人が酒蔵やワイナリーを訪れ、その場で購入したお酒に関しては消費税と共に酒税も免税されるという大変ユニークな新制度が設けられたりもしておりました。

第二部交流勉強会では、昨年入会した寺田一智さんより、「お・も・て・な・し ENGLISH ～アジア圏の文化比較と実践英会話～」というタイトルでご講話頂きました。

寺田さんは1回500円という、ほとんどボランティアにも近い価格で英会話を教える「EDO会」という英会話同好会を運営しておりますが、国際都市おおた宣言をした大田区において、英会話の活発な促進活動は素晴らしい地域貢献として区民に受け入れられており、現在では蒲田、大森、田園調布、池上、六郷、下丸子など、多数の地域で開催するまでに至っています。

そんな寺田さんですが、ワシントンDCにあるAmerican Universityを卒業され、その英会話力の高さはもちろんのことなのですが、世界70カ国を回った豊富な経験を持っており、「各国の文化」に関しても精通した知識をお持ちです。

そこで今回は、単なる英会話の勉強ではなく、日本とア



第1部の様子

ジア圏内諸国との文化の違いを教えてもらいながら、実践で使える英会話の勉強をさせて頂きました。講師の寺田さんがおっしゃるには、今後従業員に外国の方が増えることが予想される中で、コミュニケーションを図る際に日本人には「良し」と捉えられる行い、言い回しが、外国の方には「悪し」と捉えられてしまうケースが多々あるということから、言語と文化の勉強はセットですべきであるということでした。

勉強会は、参加者が体験した日本と外国の文化の違いをディスカッションすることから始まり、そのような文化の違いはどのように発生するか勉強、そしてアジア圏各国を象徴するキーワードと日本を象徴するキーワードの違いから、両国の違いをイメージする体験をさせて頂きました。

例年、最初の勉強会では新入部会員の会社紹介を行っていましたが、新入会員が得意分野を生かして勉強会をするというのは新鮮な取り組みだったのではないかと思います。めまぐるしく変化する情報化社会の中で、その道のプロから会社に持ち帰れる情報を得ることができるというのも、法人会の強みです。そのような意味でも、とても有意義な定期研修会・交流勉強会となったと感じました。

青年部会副部長 ソニックス(株) 金山 春樹



第2部の様子



第2部講師 寺田一智さん